

年末年始の診療案内

亀田クリニックの一般外来は、年内は12月28日(土)まで、新年は1月4日(土)からとなります。

【お薬切れにご注意ください】

年末年始の一般外来休診期間中は、クリニック薬局もお休みさせていただきます。慢性疾患等でご療養中の方は、年末年始の一般外来休診期間中にお薬切れが生じないように、必要な分のお薬をあらかじめ受け取ることができます。担当医と相談の上、忘れずにご準備ください。

【歯科センター 年末年始もオープン】

クリニック歯科センターでは、年末年始も急患対応にて診療いたします。ただし、12月29日(日)は休診いたします。同期間中、診療を希望される場合は必ず事前に歯科センター受付(☎04-7099-1118, 10:00~16:00)まで連絡をお願いいたします。

世界糖尿病デー 啓発イベント開催



11月14日の「世界糖尿病デー」に合わせて、当院でも糖尿病の予防・治療・療養を喚起する目的で啓発イベントを亀田クリニック1階にて開催しました。

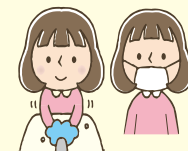
日頃の健康管理に役立ててもらおうと、糖尿病治療にかかわる専門職がそれぞれ血糖測定やかたん足腰チェック、歯周病チェック、栄養相談、お薬相談のブースを出展。外来受診のついでに立ち寄られた方など大勢の来場者で賑わいました。また歯科衛生士や糖尿病専門医によるミニ講義も行われ、盛会のうちに終了しました。

bayim「MEDICAL UPDATES」

春原佑紀さんがラジオパーソナリティーを務めるベイエフエムの午後のワイド番組『it!!(イット)』では、毎週火曜日午後3時から、当院のスタッフが出演する「MEDICAL UPDATES」のコーナー(約10分)が好評放送中です。

12月は田村信行慢性呼吸器疾患看護認定看護師が出演いたします。ぜひ、お聴きください。

インフルエンザ 対策強化にご協力ください!



院内でインフルエンザの流行を起さないために、【2019年12月9日~2020年3月末まで】の間、下記のとおりインフルエンザ対策強化を実施いたします。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。(ただし、対策強化期間は流行状況により変更する場合がありますので予めご了承願います)

■入院(予定)患者さまへの対策

⇒対策期間中に入院を予定されている方は、入院前にインフルエンザのワクチン接種をお願いいたします
⇒入院中の外出・外泊は原則禁止いたします

■(患者さまのご家族を含む)面会者への対応

⇒熱・咳・下痢・嘔吐などの症状がある場合、面会はできません。また、中学生以下のお子さまの面会は原則お断りいたします
⇒病棟へ立ち入る前に、毎回スタッフが健康状態の確認をさせていただきます。病棟に入る際は、手を消毒し、マスクを着用してください

クリスマスイベント情報

【イベント情報】

12月24日(火)、よい子にプレゼントを持ってサンタクロースが当院にやって来ます!

希望者はサンタさんと記念撮影をすることができますので、どうぞカメラやスマートフォンなどをご持参ください。



■11:10~11:25 亀田クリニック1階ロビー

■11:30~12:15 亀田総合病院Kタワー1階ロビー

※亀田クリニックでは、今年は椅子席を設けず、ロビーを周回する予定です。Kタワーでは椅子席を設け、エレクトーン演奏もありますので、どうぞお楽しみに!

【コンサート情報】

★亀田スタッフによるクリスマスコンサート

12/14(土)15:00~亀田総合病院Kタワー1階ロビー
(恒例の当院スタッフ有志によるコンサートです)

★フルートとピアノのクリスマスコンサート

12/21(土)11:00~亀田総合病院Kタワー1階ロビー

リンパ浮腫治療

リンパ浮腫外来 林 明辰



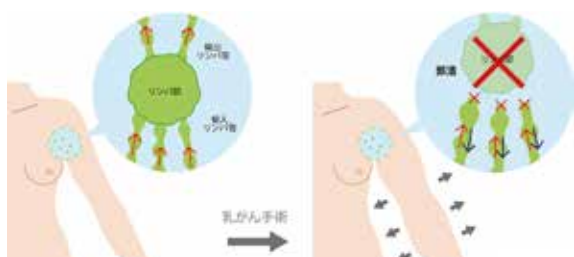
第2話 がん術後の二次性リンパ浮腫 ～発症から進行と症状の変化～

リンパ浮腫は、状況や原因によって大きく二つに分類されます。一つは、先天性のものを含めた原因不明の特発性リンパ浮腫です。もう一つは、がんの外科治療や放射線治療、外傷治療などの後遺症として明らかな原因が把握できる続発性(二次性)リンパ浮腫です。今回は、リンパ浮腫の中でも最も多く見られる**がん治療後の二次性リンパ浮腫**についてお話しします。

リンパ浮腫はどのように発症するの？

乳がんや子宮がん、卵巣がんなどの手術では、がんの転移を考慮して、術前の検査や術中の所見をもとに、**リンパ節郭清**(かくせい 病巣付近のリンパ節を切除すること)をします。この際、たくさんのリンパ管が集合してくるリンパ節を切除するため、リンパ管の中を流れるリンパ液つまり**リンパ流が停滞**してしまい、むくみが生じます。さらには、リンパの還流機能が低下し、リンパ管管腔の閉塞・消失が進み、浮腫が悪化します。

乳がん手術時にリンパ節郭清をされた方のうち約10～20%に、また婦人科系疾患によるがん手術時にリンパ節郭清をされた方のうち約30～35%に、浮腫が発症するという報告があります。加えて、放射線治療や特定の化学療法を追加で行った場合は、その発症率が高くなることがわかってきています。



リンパ浮腫の発症について、大きなポイントが二つあります。

1. 発症時期は各個人によってそれぞれ違う
2. リンパ浮腫は、上肢や下肢が太くなっていない場合でも、すでに発症していることが多い

浮腫は、術後すぐに生じる場合もありますが、10年、20年経過してから発症する場合もあり、発症時期には個人差が大きいと言われています。また、リンパ浮腫の症状も同様に個人差が大きいと言われており、上肢や下肢で太さに左右差が見られるような場合にはそれなりに進行してしまっていることもあります。そのため、リンパ浮腫がどのように進行するのか理解することが大切です。

リンパ浮腫の進行と症状の変化

リンパ浮腫の患肢では、増悪に伴い徐々にボリュームの増大を認めることが一般的です。しかし、**ボリュームの左右差がある程度わかるようになった時点ではもうすでに中等症以上のリンパ浮腫になっていた**り、**その一方で中等症以上になっても左右差がほとんど見られないケースも多々ある**ため、ボリューム変化以外の症状にも注意する必要があります。

早期にリンパ浮腫を発見できることに越したことはありませんが、早期にははっきりとした自覚症状がなかったり、患肢の軽度のこわばり、だるさや疲労感、漠然とした違和感などの比較的軽い症状しかなかったりすることが多いため、リンパ浮腫の発症に気づかないことがほとんどです。

中等症へ進んでいくに従い、患肢の重苦しさや痛み、うずきなどの感覚異常、皮膚の圧迫感、手首・足首の柔軟性や手の握力の低下など、様々な自覚症状が起こります。また、衣服がきつくなった、指輪・腕時計・ブレスレットが装着しにくくなった、靴が履きにくくなった、正座がしにくくなったなど生活での変化が気になるようになってきます。

さらには重症へ進んでいくに従い、手指の細かい動きができない、箸が持てない、階段が上りづらい、歩行が困難になるなど生活に不自由が多くなってきます。また最も注意しなければいけない点は、皮膚が粗雑に変化したり、皮膚からリンパ液が流出するようになったり、患肢の蜂窩織炎(感染)が多くなることです。

上記のようなリンパ浮腫の進行に伴う症状の変化には常に注意を払う必要があります。それ以上の増悪を防ぐためにも、すでにリンパ浮腫を発症して保存療法を開始している方のみならず、発症はしていないががん手術時にリンパ節郭清を行いリンパ浮腫になるリスクが高い方もともに、**定期的なリンパ浮腫の診察・検査はとても重要な**のです。

医師紹介

げん あんり
玄 安里 医師

- ①担当科目
- ②診療における得意分野
- ③趣味
- ④ひと言



- ①乳腺科
- ②乳がん治療
- ③温泉巡り、ピアノ
- ④気になること、何でもご相談ください。一緒にがんばっていきましょう



Kameda Medical Center

亀田ホームページ <http://www.kameda.com>